

鶴見川水系 鶴見川多目的遊水地の効果

- 鶴見川では約42万m³の洪水を鶴見川多目的遊水地で貯め込み、この結果、越流堤直下流の亀の子橋水位観測所の水位は約50cm低下したと推定。
- 鶴見川遊水地が無かった場合、はん濫危険水位を上回っていたと推定され、横浜市、川崎市で避難勧告等が発令された恐れがありました。
- 平成15年6月の供用開始以来、4番目の貯留量を記録(過去17回の貯留を実施)。

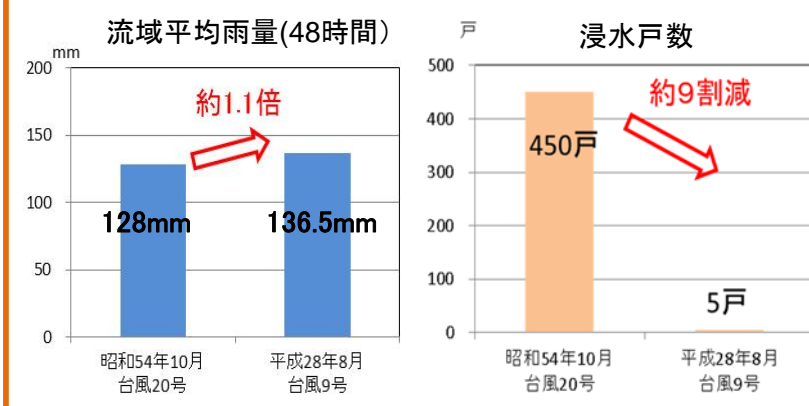


鶴見川多目的遊水地は、平常時には公園等として利用

鶴見川の水位が上昇し、越流堤から鶴見川多目的遊水地に流入



鶴見川多目的遊水地など、これまで講じてきた総合治水対策による効果



※本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。